

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	アメリカ・ボストン フィッシャーカレッジ 一般英語コース
-----	------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	83828 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9201 円	
現地通学費	17330 円	(研修先まで 50 分)\$22.5×5 7日間パス
教養娯楽費	49767 円	
被服費	397 円	バスタオル
雑費	0 円	
その他	40193 円	例:土産
合計	190716 円	

渡航準備について

- 1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート
- 2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカタッチ決済
- 3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
World eSim 無制限プラン 10日×3+7日
- 4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
麦茶のこな、白米、ヨーグレット等

現地情報

- 1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
 なし あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
- 2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
地球の歩き方参照 防犯対策→パスポートは体に密着できるベルトバックに入れた。 犯罪なし
歩道の整備が長期間行われていないところも安全性は怪しい。
- 3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
地下鉄及び入り組んだところは少し電波が悪かった。それ以外は、可。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

Wifi が弱かった。そのため、快適にネットを使用したい場合は esim の無制限プランを購入しておくかと安心。自分の部屋には、机がなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良い点→最初のテストを持ってクラス分けが行われるため、授業についていけないと言ったことはない。内容も日本で既に学習している単元が出てくる。

悪い点→特筆する点はない。(週明けに復習テストあり)

2)課外プログラムについて

月曜→hangout or bonuses lesson(参加してないのでコメントなし)火曜→lecture(テーマについて知る)水曜→coffee & conversation(カフェにいて他の学生と交流する。飲み物代は学校持ち)木曜→tour(他の大学や施設を見に行く)金曜～日曜→ボストン市内で行われているイベントについて記載(Kings Boston が主催ではない)月曜～木曜は 14:45 開始 もちろん自由参加

個人的には、水木のイベントは行った方が良い気がする。

3)現地での生活に関すること

夜は、治安がよろしくない、太陽が落ちてから、1 時間経ったら Uber 等の使用を推奨。地下鉄の帰宅ラッシュ帯に日本の酔っ払いより遥かにヤバそうな(心に余裕がなさそうな)人もいたので要注意。ボストン中心地を離れる程、白人はいなくなる。聖書の売り子が車内にいた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地の大学に混ざって授業を受けるタイプではないので、現地学生はない。他国から来た、同じコースの人となら、交流はあった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

交流したグループは同じアルゼンチンからきた人たちと交流を持った。自分が計画していなかったところについていった(図書館や有名な St.)。休日には、Salem という都市までついていった。魔女美術館等に行った。

同じホームステイ先のブラジル人と日本人で、NBA を観戦した。

先程のブラジル人とは別のひととボストン美術館に行った。(第三木曜日の 17 時以降は \$30→\$5)

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

信号で歩行者用のものはなかなか青にはなってくれない。その例として、道路を中にある島を経由して渡る交差点があったが、4 分ほど渡り切るのに時間がかかった。そのため、ほとんどの人が信号の色が赤でも渡ろうとする。もちろん、大通りでは車がない時ではあるが。しかし、中には信号ではないところを車がガンガン通っているにも関わらず、渡ろうとする人も多くみられた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私がこの留学生活で一番重要であると気づくことができたのは、言語を学ぶ本質である。日本の学生(中学生～大学生)は、英語を学び始めたきっかけは学校のカリキュラムにあるからであり、それを学び続けるのは、大半の人たちが高校・大学受験に出題されてしまうからである。そうすると、単語・文法・イディオム等を間違えることなく、覚えていく必要がある。単語の羅列的に意味が分かって、文法が間違っていたら許されない世界である。ルールでガチガチだから、英語を学ぶのが苦になる人が多いと思う。しかし、言語を使う本質は、コミュニケーションをとることである。意味が通じれば、細かい文法の違いは気にする必要がないと日常会話で思われた。